



水稻育苗箱用長期持続型殺虫殺菌剤

農林水産省登録  
第22416号

# Dr.オリゼ<sup>®</sup>スタークル<sup>®</sup> 箱粒剤

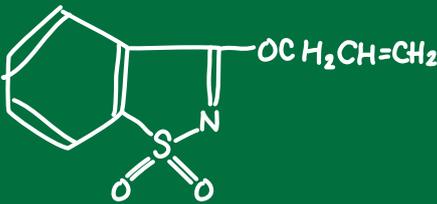
「Dr.オリゼ」、「スタークル」は登録商標です。

## 育苗箱への処理で、水稻を病虫害から長期間守ります!

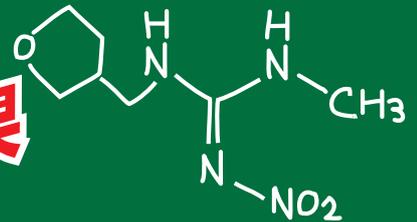
いもち病をなが〜く  
抑えることで定評の  
**Dr.オリゼ<sup>®</sup>**



水稻の各種害虫に  
防除効果を発揮する  
**スタークル<sup>®</sup>**

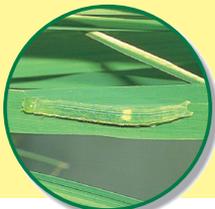


**育苗箱で  
いもち病、害虫に  
なが〜い W の効果  
ダブル**



©2002 DNP

**緑化期にも  
使えます!!**



フタオビコヤガ



イネクロカメムシ



もみ枯細菌病



いもち病



ウンカ類



ツマグロヨコバイ



イネドロオイムシ



ニカメイチュウ



イネズバウムシ



白葉枯病

# 育苗箱への処理で水稻を病害虫からWで守る!

# Dr.オリゼ<sup>®</sup>スタークル<sup>®</sup>箱粒剤

農林水産省登録 第22416号

有効成分:ジノテフラン 2.0%

プロベナゾール25.0%

人畜毒性(製剤):普通物 ※

殺虫剤分類	4A
殺菌剤分類	P2

※「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

## 特長

- 有効成分の溶出を制御する特殊処方により、病害虫の防除効果が長期間持続します。
- 緑化期から移植当日まで使用できる薬剤です。

## いもち病・害虫にWの効果

### 水稻の病害抵抗性を誘導する薬剤です

Dr.オリゼ<sup>®</sup>の有効成分プロベナゾールが水稻に作用することで、いもち病・白葉枯病・もみ枯細菌病への抵抗性を高めます。薬剤への耐性を持つ菌が出現しにくく、安定した効果を示します。

### 水稻の各種害虫に防除効果を示します

スタークル<sup>®</sup>の有効成分ジノテフランが、ウンカ類・ツマグロヨコバイ・イネミズゾウムシ・イネドロオウムシ・ニカメイチュウ・イネクロカメムシ・フタオビコヤガに防除効果を発揮します。

## 適用病害虫と使用方法

(2016年8月現在)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 ウンカ類 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ イネクロカメムシ もみ枯細菌病 白葉枯病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌 約5L) 1箱当り 50g	緑化期～ 移植当日	1回	育苗箱の苗の 上から均一に 散布する。	4回以内 (育苗箱への処理 及び側条施用は 合計1回以内、 本田での散布、 空中散布、無人 ヘリ散布は合計 3回以内)	2回以内 (移植時までの 処理は1回以内)
	フタオビコヤガ		移植3日前～移植当日				

## 上手な使い方

### 1.箱当り50gを均一に

育苗箱の苗の上から均一になるように散粒してください。



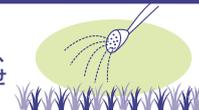
### 2.軽く払って

薬剤散粒後、軽く苗の上半分を払い、葉にひっかかっている薬剤を培土の上に落としてください。

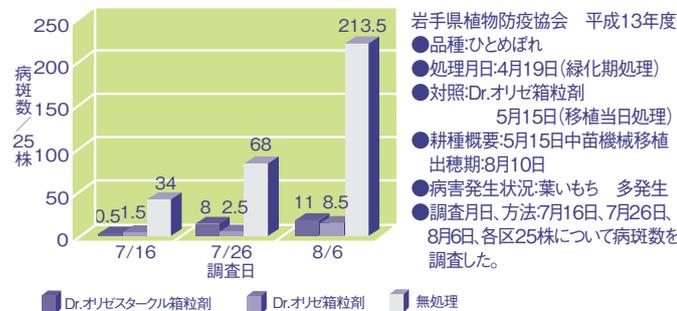


### 3.十分に水やり

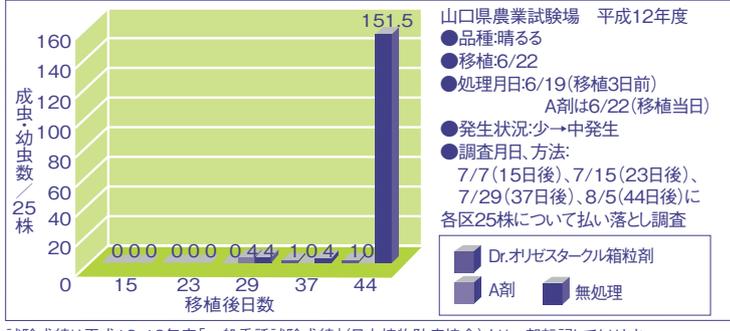
最後に上から十分に灌水し、薬剤を培土の上に落ち着かせてください。



## いもち病に対する防除効果



## ツマグロヨコバイに対する防除効果



試験成績は平成12、13年度「一般委託試験成績」(日本植物防疫協会)より一部転記しております。

## 使用上の注意

1. 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
2. 育苗箱の苗の上から所定薬量を均一に散布し、莖葉に付着した薬剤は払い落とし後、十分灌水してください。
3. 稲苗の葉がぬれていると、薬剤が付着して薬害を生じる場合もあるので、散布直前の灌水はさけてください。
4. 軟弱徒長苗、むれ苗などでは薬害を生ずるおそれがあるので、必ず健苗に使用してください。
5. 処理苗移植の本田の整地が不均整な場合は薬害が生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後田面が露出したりしないように注意してください。
6. 処理苗を本田に移植したのちは、そのまま湛水状態(湛水深3~5cm)を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意してください。
7. 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合には使用をさけてください。
8. 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさけてください。
9. 本剤の処理により、軽度の初期育成遅延や葉の黄化を認めることがありますが、その後回復するので通常の管理を維持してください。
10. 容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
11. 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

## 安全使用上の注意

1. 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
  2. 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
  3. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
  4. かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
  5. 夏期高温時の使用をさけてください。
  6. 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
  7. 移植後は、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
  8. 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 保管…直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保存してください。



- 使用前にラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。皮膚などにかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合には、医師の手当を受けてください。

\*本製品は農業用殺虫殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

\*本印刷物は2023年3月31日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。



三井化学クロップ&ライフ  
ソリューション株式会社

東京都中央区日本橋 1-19-1 日本橋ダイヤビルディング  
ホームページ <https://www.mc-croplifesolutions.com>

DOS1B01J